

「消費生活センター」から身近な情報をお届け

「植物の種が入った郵便物が、突然自宅に届く」

最近、「中国から身に覚えのない植物の種のような物が入った小包が届いた」といった相談が全国に寄せられています。

誰が何のために送っているかは不明ですが、もし届いた場合の対処法を紹介します。

■未開封の場合
配達業者に連絡し「受取拒否」の手続きを取りましよう。

■開封してしまった場合
植物防疫所へ連絡してください。勝手に種を植えてはいけません。

門司植物防疫所
093-321-2601

「災害に備えましょう」
7月の九州豪雨では、大勢の人たちが被害に遭い、現在

も懸命な復旧作業が続いています。また、本格的な台風シーズンに入りました。いざという時に備えて日ごろから色々な情報を受け取れるようにしておくことが効果的です。

携帯電話で情報が受け取れる「防災メールサービス」やスマートフォンでラジオが聴けたり、避難情報を確認できる「防災アプリ」などもあります。この機会に、登録やインストールしてみましよう。

一方で、災害発生後は災害に便乗した悪質な訪問や、不審な勧誘などの消費者トラブルが増える傾向にあります。困ったら、一人で悩まず消費生活センターに相談してください。

問 市民課消費生活センター ☎22-9122

你好,平戸

vol.9

『中秋(チョンチウ)』

中国の中秋節は、毎年旧暦の8月15日で、今年は10月1日です。皆さん、中秋節について月にまつわる「嫦娥奔月」伝説を聞いたことがありますか。

遠い昔、世界には10個の太陽があり、人々は苦しんでいました。それを救える神様の「後羿」は、人間界に降り9個の太陽を射落しましたが、太陽の神・帝俊の怒りを買って、後羿の妻・嫦娥と共に神の資格を奪われ、天界から追放されました。その後、後羿は女神である西王母から不死の仙薬をもらいますが、その際に1つ注意がありました。二人で全部飲めば天界に帰ることができるが、望みは不死。ならば、夫婦で分けて飲



国際交流員
丁睿明
(テイ・エイロウ)
(中国出身)

みなさい」と。後羿は、太陽を射落とした功績で、すっかり舞い上がり暴虐な王になっていました。こんな王が、不老不死になれば大変と思、8月15日の夜、嫦娥は薬を全部飲み、月にある「広寒宮」という宮殿へ向かいました。後羿は一人きりとなり、その夜、明るく丸い月に嫦娥が好きな果物を供え、彼女を思いました。

それ以来、月を見ながら月餅という月のように丸い餅を食べる習慣が今も続いています。月餅は、丸いので家族の団欒を象徴しています。



問 文化交流課交流推進班 ☎22-9143

《 「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です! 》

「みんないきいき元気に」

高齢者の通いの場訪問

VOL.51

平戸市では、高齢者がいつでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。

このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介しています。

問 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎22-9133



「薄香楽遊クラブ」

薄香地区では、平成30年3月から平戸よかよか体操を行う通いの場を始めました。皆で集まって体操や会話をすることで楽しく笑顔になれる時間を共有したい思いで「薄香楽遊クラブ」と名付けました。

参加者は毎回20人程度で、平均年齢80歳で週に1回活動しています。内容は、体操だけでなく、カラオケ、輪投げ、お手玉などのゲームも取り入れるなど工夫を凝らして活動しています。会員同士で向日葵のような明るい雰囲気の中、優しさや温もりのある交流の場になっています。

Interview

薄香楽遊クラブ

代表
ふかえ あけみ
深江 明美さん
(鏡川町)



地域の人たちから集まる場所が欲しいとの声が以前から上がっていたこともあり、健康づくりの場としてよかよか体操に取り組んでいます。

現在は新型コロナウイルスの影響で、日帰り旅行や納涼会などは中止していますが、三密や感染予防を心掛けながら出来ることや健康づくりを考えています。

薄香地区のたくさんの笑顔あふれる「みんなのたまり場」に、これまで以上に多くの人たちが気軽に参加してもらえるように、これからも活動を続けていきたいと思っています。

活動日/毎週水曜
午後1時~4時
活動場所/薄香公民館
開催地区/薄香地区
代表/深江 明美

